

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」上島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	同時刻の定員を 2 名にしている。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		バリアフリー化はされていない。段差は声掛けで注意を促している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	3		利用者さんの使用するところは OK だが、職員しか出入りしない場所は整理する必要がある。排水溝の臭いや水回りの詰まりが気になる。業者に見てもらい、今後工事が決定している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	毎月 12 月に事業所評価をしていただいている。昨年度からはスプレッドシート方式にしたため短時間で評価できるようになった。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	研修の年間スケジュールを立て、定期的に研修を行っている。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	指導員がいつでも見られるファイルに個別支援計画を綴じているため、確認しながら支援計画を立てられる。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	発達目標到達度に応じて支援内容の見直しを行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	個別支援だけではなく、小集団活動やイベントへも適宜案内している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	翌日に昼礼の時間を取り支援中の気付きや方針を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援後、2,3 日以内には記録の入力を完了させている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	相談支援事業所の担当者と情報交換や目標を共有している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児無し
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児無し
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	保護者からの希望があった場合、必要性がある場合は園訪問を行い連携を取っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	サポートかけはしシートを小学校に持参し、スムーズな就学に繋がるように情報を伝えている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	児発連絡協議会が主催する研修に参加し、事例検討会や勉強会を行っている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	イベント時に兄弟児さんの参加も受け付けている。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	保護者に送迎をしてもらっているため毎回フィードバックを行っている。

	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	3	プログラムとしては確立していないが、支援見学や一緒に活動していただくことができるようになっている。	
	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に説明を行っている。初回の引き落としの際にも明細の見方を伝えている。	
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	来所時に相談に応じている。	
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	年2回以上「きりりカフェ」を開催している。	
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	「事業所内相談」を直接または LINE を通しての2パターンで申し込めるようにしている。	
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	1	鍵付きの書庫で保管している。	
	⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	視覚情報と聴覚情報を組み合わせて伝えている。	
	⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		
非常時等の	⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	マニュアルを入り口に設置している。	
	⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	毎月訓練を行っている。	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	「基本情報シート」を年1回配布し、記入してもらっている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事の提供はなし	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	内部研修の他、児童相談所の方にも来ていただいて研修を受けた。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	該当者が出たらガイドラインの通りに対応するがこれまで該当者なし。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表日

2024年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」上島校

保護者数(児童数):

25

回収数:

20

割合: 80%

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5	0	1	ひとつの部屋をパーテーションで区切って、同時に2人やっているの、自分の子どもが途中隣の子の様子が気になってしまう。	ご意見ありがとうございます。狭い空間で支援を行っているため、お子さんが集中しづらい面もあるかと思えます。ご心配をお掛けして申し訳ございません。就学に向けて自分の活動に集中できるよう、教材の提供の仕方、声掛けの仕方をもっと工夫していくよう努めてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	3	0	0	療育中熱心に様子をメモして下さる先生もいれば、言葉がけがあまり上手ではない先生もいて、専門性が統一されていないと思う。	ご意見ありがとうございます。内部・外部研修を利用して専門性を高め、今よりもっと良い支援を行うことができるようにしていきたいと思えます。支援に関してお気づきのことがあればいつでもおっしゃってください。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	4	0	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	6	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	19	0	0	1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	1	0	2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	0	0	2		

	⑧	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	15	1	1	3		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	4	5		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	0	0	2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	8	4	4	4		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	6	0	4		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	5	5	特に必要としていないので無くて良いです。	ご意見ありがとうございます。「きらり」では「きらりカフェ」という保護者会を開催していますが、参加は自由となっております。個別相談も行っておりますのでお気軽に声をお掛けください。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	2	0	3		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	0	0	1		
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	0	0	6		
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	1		

満足度	㊸	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	0		
	㊸	事業所の支援に満足しているか	18	2	0	0	小集団活動の曜日と時間を増やして欲しい。	ご意見ありがとうございます。小集団に関しましては皆さんの希望を基に曜日や時間を設定しております。年度の始めに小集団活動への希望調査も行いますのでご希望をお聞かせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。